三月一日後の時事新報

世間政論の筆鋒快活なるもの多しと雖も往々目下の出來事を見るに忙しくして其論旨淺薄にわらざれば急激の域を免かれず時事新報の記者頃日忙中の間を偷んで一報を起草し

維新以來政界の大勢

と題して現政府が維新の初、開國進取の國是を決斷し駸々進歩の途中明治十四年以來頓に方針を轉じて開進の政友を失ふのみならず其友を變じて敵と爲し國會開設に際して進退維谷の難局に陷りし其由來を歴史に徴し時事に照らして仔細に說論し末段に薩長藩閥の永久す可らざるを明示し結局功臣大同の内閣を組織して徐々に後進生を入れ以て責任内閣の佳境に達するの利を說き官民兩面に向て勸告を試みんとす草稿將さに脫せんとすれば來る三月一日より本紙に掲げて凡そ二週日の間、讀者の煩はを煩はす可し

時事新報

條約改正談

久しく跡を收めたる條約改正談は近來又もや世間の噂を傳はして或は近々の内に事の成就を見るならんとの說あり一片の風說素より信ずるに足らずと雖も時勢の大局より觀察し來れば亦自から信ぜざるを得ず其事たる外交の秘密に屬して當局者に就て眞否を糺す可きに非ず之を糺したりとて固より語る可きにも非ず又或は之を窺ひ知るも決して口外す可き事柄に非ざれば我輩に於て假令ひ聞き得たるみどありとするも之を公にするが如きは僅義上、敢て爲さゞる所なれども事の全體より推して其成行を察するに今日に於ては決して困難事に非ず當局者の覺悟次第にてはイヅ何時ろの成就を見るも圖る可らず從來西洋諸國が我國に對するの有樣を如何と云ふに單に一個の貿易國と見做して商賣貿易上に於て自國に利する所あれば則ち可なりとして其他を問はざりしものが近年來我開進々歩の國勢は彼國人の眼中に映じて次第に重きを成し遂に飽然たる政治上の一國民と認むるに至りたるや實際に疑ふ可らず政治上の國民とは即ち對等國と認めたるみどありとするの理由はある可らず左れば我申出にして苟も至當の請求ならんには先方に於ては漫に異議を唱るに非ず其内實は却て歓れより進んで之を優すの事情もある可し改正の機正に熟して時勢少なりと雖も鑑みて我國の内情を見れば如何なる次第にや條約改正と云へば極めて難病にして恰も結核病患の如く到底治癒の及ばざるものと朝野一般に斷定したるもの〜如し故に或は病に之を診察して實際必ずしも左はゞの難症に非ざるを發見し進んで自から主治醫の局に當らんとするものあるも其療法果して効を奏して手もなく難症を治し去るときは名醫の功名は其一人に歸して從來傳聞して手を束ねたる輩は全く無色を失はざるを得ず是に於てか事の稍や佳境に入らんとするを見るときは百方に手を廻はして陰に陽に之を妨げんとする其乳癖いつしか外に漏れて忽ち世間の俗論を騒がせしめ實國辱國なぞ只聞もなく騒き立て内外一般の輿論は其の帝なるが故に當局者も益に至りて自から感を投ぜざるを得ず即ち毎度の失敗を重ねて不治難症の名をして ☆すゝ〜高からしめたる次第なれども國内に於て其評判の ☆ます〜高きにも拘はらず相手なる外國の模樣を見れば前に記したる通り事、亦容易なるが如しと云ふ苟も局に當りて事情に通ずるものは此機會を看過する筈はある可らず況んや現政府の中には曾て其事に關して一たび意を投じたる經驗家もあるのみならず近來は政府自から開國進取の旨を宣言して對外の責任に一層の重きを加へたるみどなれば改正の事業に就ては自から成算の存するものと認めざるを得ず若しも當局者が此際に當り覺悟を極めて至當の談判を試るに於ては成功必ず期す可し我輩の敢て疑はざる所なれども愛に恐るる可きは其機密の少しにても漏るゝみどあれば忽ちに例の反對を引起すの一事にして折角の苦心盡力も水泡に歸するみどなれば實際に着手したる以上は深く自から慎めて苟も事に關係せざるものは假令ひ政府部内親近の地位に在る吏人輩と雖も一切みれを語る可らざるは無論、部外一般に對する取締の如きも飽まで嚴重にして薄洩を防ぎ一切萬事秘密の間に謀議を凝らして其發表は疾雷耳を掩ふに違あらざるの趣向みを肝要なれ斯くて内外の反對故障も起らずして容易に成功を見るみどならん素より尋常一樣の事を成したるものにして一服の藥を投じて風邪を醫したるに異ならず當局者の手際として殊に感服す可きに非ざれども世間凡俗の情に於ては則ち然らず年來不治の症と認めたる條約改正の難病を立談の間に治したりとあれば天下の大功名は忽ち其人に歸すると同時に一世の怨嗟も自から之に歸して或は不虛の奇變も圖る可らざるが故に大願成就の曉には之を機會に功成り名遂げて身退くの心を以て自から政界の外に去るの決心肝要なる可し單に其人の一身の爲めのみならず一時の治安を謀る善後の處置としても策の得たるものなる可し我輩の敢て煩はす所なり

雜報

○讒告收賄事件の豫審調書

錦織と後藤の關係

錦織剛清氏と後藤新平氏との關係は錦織氏の調書に就て其一二を揭げしが今又後藤氏の調書に就て其一二を擧ぐべし其重なる點は相馬誠胤子の夫人に關する事錦織のために金圓借用の事等最も注目すべき所ならん

被告人後藤新平調書（一）

判問　法廷に於て不實の事を云ふは殆んど被告人たるもの〜常情であるが其方は身分ある人であるから其等の考を持たず其に陳述するが好かろうと思はる殊にツマラヌ事を隱蔽するとき審問の進行を遲滯ならしむるものであるから特に此事は注意し置く

後答　承知しました私は不實の陳述を致した積りはなく又他の被告人を曲庇する考も持つて居りませんから自分も知つて居るみどは訊問に從て陳述する積りで居ります

問　是れより錦織と其方との關係を取調ふるであるが先日山口との關係を陳たときに事實を隱蔽したと認めるから錦織との關係を陳述するに付ても隱蔽せぬ樣に申立て致せ

答　それは承知しましたが先きに山口との關係に付ては問の意味を取り違ひたのでありますが然るに判官が山口のときに隱蔽したから錦織との關係に付ても隱蔽するだろうと前置に云はるゝは甚だ心外だろうと思はれます

問　錦織と知り合になりたるは何年何月なるや

答　明治十六年です

問　それは何處に於て乎

答　麹町區三番町私宅に訪ふて來ましたのです十六年頃と存じます

問　其以前に於ても面會したみどなきや

答　其以前には面會したみどありません

問　其方は相馬家に對して奮君臣とか又は奮來の義き合の關係なきのか

答　何にもありません併し明治八年頃私は相馬へ行つたみどあります

問　それは何用にて行つたか

答　それは相馬にて有名なる奮藩久米之助と云ふ學者がありまして其人の脊中に癌が出來まして福嶋病院長が聘せられて行くとき私は助手として參つたのです

問　錦織は何の爲めに十六年に其方を尋ねて來たか

答　初め來たときは神野虎太と云ふもの〜負債のみどで來たのです其時云ふに實はあなたに對して緩くり御話し申すみどがあるのであなたに紹介狀を貰つて居るのであるが本日は神野の負債のみどで來たのであるが同人に貸しがあるから其負債を拂つて呉れと云ふみどでありました其金は窮迫したが爲めに使ふのだと申しましたが私は何の事であるか知らぬが金を支拂ふ事は出來ぬと申して斷りました其時はうれぎりで歸りまして翌朝改めて錦織が參りました其紹介と云ふのは愛知縣病院書記をして居る今村秀榮と云ふものがあり之が奮で同病院長をして居るときドクトルローレットと云ふものに就て裁判醫學を修めましたみどを錦織が其今村から聞て同人の紹介狀を貰つて逢ひに來たのであります

問　錦織と知合以後の手續に付昨年其方が歸朝前までのみどは本件に重要の關係なき樣思料せらるゝに付其概略を申述べよ

答　それから三日計經てから宮内大書記官をして居た櫻井純造なるものが來て錦織なるものは信用の出來ない樣なものではあるが此相馬事件なるものは重大のみど柄であるから是非前の裁判醫學上の一臂の力を貸して呉れぬかと云つたのです それに因つて大に感する處もあり戶塚文海に面會してついに櫻井に此事に力を盡そうかと云ふみどの返答をしたのです 其冒瀆たるや裁判醫學上必要なる問題であると考へたから其處に至つたのです 尤も十六年頃には醫師俗人とも裁判醫學の何物たるを知らぬ時でありましたからこう云ふ事柄から一氣阿成の力を以て之れに盡さなければ此問題は決するみどは出來ませぬ誠に斯かる問題は裁判醫學上の必要のみどで之れを研究するに至つたのは裁判醫學の一歩を進めたものと信じて私も其に力を盡したのであります 二十二年二月以後は相馬事件と云ふものには少しも與りません勿論錦織は出入はして居りますが然し本人は二日續けて來るみどもあり三箇月來ないみどもありて斷續して居りましたが出入しては居りました且つ來たときは久邇宮殿下の話しとか淺野侯の話しとか相馬家に關する話しはありましたが素より新聞を讀む如きもので私は事件には關係しませんです

問　此事が醫學上研究するの必要あると云ふ此事と云ふは何んであるか

答　此事と云ふは監禁すべからざる嘉納者の相馬誠胤を監禁したと云ふみどい不具の妻を配したと云ふ事とであります

問　監禁すべからざる嘉納と云ふみどゝ不具の妻と云ふみどは誰れから聞たのか

答　不具と云ふみどは初め櫻井及び錦織から聞たのですが それで偖て不具樣のみどであるが誰れか見たものがあるかと云ふに戶塚文海が見たと云ふ故就て聞きたるに不具であると申し而して誠胤は嘉納となして監禁されて居ると云ひ監禁するに付ては確な診斷書もないと云ふみどですから之れは裁判醫學上研究すべき必要の事柄であると信じたのであります それから岩佐純診斷書のみどあり中井常次郎の診斷書のみどあり全く裁判醫學上研究すべきみどあり

問　それは何處に於て乎

答　麹町區三番町私宅に訪ふて來ましたのです十六年頃と存じます

問　其以前に於ても面會したみどなきや

答　其以前には面會したみどありません

問　其方は相馬家に對して奮君臣とか又は奮來の義き合の關係なきのか

答　何にもありません併し明治八年頃私は相馬へ行つたみどあります

問　それは何用にて行つたか

答　それは相馬にて有名なる奮藩久米之助と云ふ學者がありまして其人の脊中に癌が出來まして福嶋病院長が聘せられて行くとき私は助手として參つたのです

問　錦織は何の爲めに十六年に其方を尋ねて來たか

答　初め來たときは神野虎太と云ふもの〜負債のみどで來たのです其時云ふに實はあなたに對して緩くり御話し申すみどがあるのであなたに紹介狀を貰つて居るのであるが本日は神野の負債のみどで來たのであるが同人に貸しがあるから其負債を拂つて呉れと云ふみどでありました其金は窮迫したが爲めに使ふのだと申しましたが私は何の事であるか知らぬが金を支拂ふ事は出來ぬと申して斷りました其時はうれぎりで歸りまして翌朝改めて錦織が參りました其紹介と云ふのは愛知縣病院書記をして居る今村秀榮と云ふものがあり之が曾て同病院長をして居るときドクトルローレットと云ふものに就て裁判醫學を修めましたみどを錦織が其今村から聞て同人の紹介狀を貰つて逢ひに來たのであります

問　錦織と知合以後の手續に付昨年其方が歸朝前までのみどは本件に重要の關係なき樣思料せらるゝに付其概略を申述べよ

答　それから三日計經てから宮内大書記官をして居た櫻井純造なるものが來て錦織なるものは信用の出來ない樣なものではあるが此相馬事件なるものは重大のみど柄であるから是非前の裁判醫學上の一臂の力を貸して呉れぬかと云つたのです それに因つて大に感する處もあり戶塚文海に面會してついに櫻井に此事に力を盡そうかと云ふみどの返答をしたのです 其冒瀆たるや裁判醫學上必要なる問題であると考へたから其處に至つたのです 尤も十六年頃には醫師俗人とも裁判醫學の何物たるを知らぬ時でありましたからこう云ふ事柄から一氣阿成の力を以て之れに盡さなければ此問題は決するみどは出來ませぬ誠に斯かる問題は裁判醫學上の必要のみどで之れを研究するに至つたのは裁判醫學の一歩を進めたものと信じて私も其に力を盡したのであります 二十二年二月以後は相馬事件と云ふものには少しも與りません勿論錦織は出入はして居りますが然し本人は二日續けて來るみどもあり三箇月來ないみどもありて斷續して居りましたが出入しては居りました且つ來たときは久邇宮殿下の話しとか淺野侯の話しとか相馬家に關する話しはありましたが素より新聞を讀む如きもので私は事件には關係しませんです

問　此事が醫學上研究するの必要あると云ふ此事と云ふは何んであるか

答　此事と云ふは監禁すべからざる嘉納者の相馬誠胤を監禁したと云ふみどい不具の妻を配したと云ふ事とであります

問　監禁すべからざる嘉納と云ふみどゝ不具の妻と云ふみどは誰れから聞たのか

答　不具と云ふみどは初め櫻井及び錦織から聞たのですが それで偖て不具樣のみどであるが誰れか見たものがあるかと云ふに戶塚文海が見たと云ふ故就て聞きたるに不具であると申し而して誠胤は嘉納となして監禁されて居ると云ひ監禁するに付ては確な診斷書もないと云ふみどですから之れは裁判醫學上研究すべき必要の事柄であると信じたのであります それから岩佐純診斷書のみどあり中井常次郎の診斷書のみどあり全く裁判醫學上研究すべきみどあり

問　相馬誠胤を病院から連れ出すとき錦織の上なりしや

答　誠胤を連れ出すとき錦織でない他のものから私はそれは承知せぬ時怪我をしたから療治をしたから連れて來るのであるが誠胤を原被の關係のなきものと認めたのであります 其時は世の中の問題と云ふ事は世の中の問題と云ふみどは隱れなき事實であるから其處に置て診察したのであるが誠胤を原被の關係のなきものと認めたのであります 其時は世の中の問題と云ふみどは隱れなき事實であるから其處に置て診察したのであるが誠胤を原被の關係のなきものと認めたのであります 其時は世の中の問題と云ふみどは隱れなき事實であるから其處に置て診察したのであるが誠胤を原被の關係のなきものと認めたのであります 其時は世の中の問題と云ふみどは隱れなき事實であるから其處に置て診察したのであるが誠胤を原被の關係のなきものと認めたのであります 其時は世の中の問題と云ふみどは隱れなき事實であるから其處に置て診察したのであるが誠胤を原被の關係のなきものと認めたのであります 其時は世の中の問題と云ふみどは隱れなき事實であるから其處に置て診察したのであるが誠胤を原被の關係のなきものと認めたのであります 其時は世の中の問題と云ふみどは隱れなき事實であるから其處に置て診察したのであるが誠胤を原被の關係のなきものと認めたのであります 其時は世の中の問題と云ふみどは隱れなき事實であるから其處に置て診察したのであるが誠胤を原被の關係のなきものと認めたのであります 其時は世の中の問題と云ふみどは隱れなき事實であるから其處に置て診察したのであるが誠胤を原被の關係のなきものと認めたのであります 其時は世の中の問題と云ふみどは隱れなき事實であるから其處に置て診察したのであるが誠胤を原被の關係のなきものと認めたのであります 其時は世の中の問題と云ふみどは隱れなき事實であるから其處に置て診察したのであるが誠胤を原被の關係のなきものと認めたのであります 其時は世の中の問題と云ふみどは隱れなき事實